

第10回岡山県委託事業 地域連携・多職種協働  
周術期管理パス普及事業 公開セミナー

日 時：2018年1月14日（日）12：30～17：00

場 所：地域医療人育成センターおかやま

MUSCAT CUBE 3階 MUSCAT Hall

テーマ：チームで行う周術期管理 術後せん妄対策ワークショップ

講義	<p>「臨床に役立つ！せん妄の知識とスキル」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学 助教 井上真一郎先生</p>
ワークショップ	<p>グループワーク 症例1：術後せん妄への対応 症例2：せん妄の発症予防と重症化予防</p> <p>ミニレクチャー 「せん妄の発症予防と重篤化回避～薬剤師の観点から～」 岡山大学病院 薬剤部 主任薬剤師 江角悟先生</p> <p>「D-mac 紹介」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学 助教 井上真一郎先生</p> <p>【ロールプレイ：せん妄パンフレットを用いた説明】 岡山大学病院周術期管理センター 看護師長 足羽孝子先生</p> <p>「よくある質問への対応ポイント」 岡山大学病院急性重症患者看護専門看護師 伊藤真理先生</p>



第10回 岡山県委託事業 地域連携・多職種協働周術期管理パス普及 公開セミナーを開催いたしました。

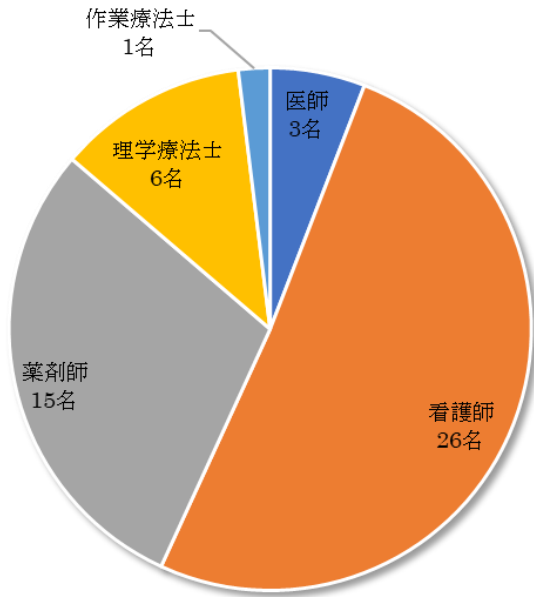
今回のテーマは「チームで行う周術期管理 術後せん妄対策ワークショップ」でした。参加者は11施設51名で、そのうち4施設18名の方が県外から参加されました。

始めに、岡山大学大学院医歯薬総合研究科精神神経病態学助教 井上真一郎先生より、「臨床に役立つ！せん妄の知識とスキル」と題し、せん妄の診断基準をどう活かすか？、せん妄の3因子、せん妄の評価ツール、薬物療法、せん妄の非薬物療法について講演が行われました。

ワークショップでは、他職種・他施設の受講者で6名ずつのグループ編成をし事例検討を行いました。また、入院中のせん妄患者への対応を動画で紹介されました。

研修終了後の受講者アンケートでは、施設を分け、職種もバラバラの為、とても良いグループワークになったとの意見をいただきました。また、資料がたくさんもらえてよかったとの意見もいただきました。

研修終了後の受講者アンケートでは、施設を分け、職種もバラバラの為、とても良いグループワークになったとの意見をいただきました。また、資料がたくさんもらえてよかったとの意見もいただきました。



参加者地区内訳

参加地区	人数
岡山市内	26
岡山市外	7
岡山県外	18